

調剤業務の基本 **技能**

処方せん受付から調剤、鑑査までの病院・薬局の実務

● 推薦の言葉	望月正隆
● 監修の序	上村直樹
● 編集の序	下平秀夫
● 実務実習モデル・コアカリキュラムと本文参照ページの対応表	ii
実務実習事前学習方略	ii
薬局実習方略	v
病院実習方略	x
OSCE との対応表	xiv

第 1 章 調剤の流れ

1. 病院調剤の流れ **関連LS** S201, S202, H102, H103, H106 若林 進 2

1. 処方せんの発行から入院患者に投薬されるまでの調剤の流れ	2
1) 医師による処方書の作成 / 2) 処方せんの受付 / 3) 処方せんの鑑査 / 4) 薬袋・薬袋ラベルの作成 / 5) 錠剤・カプセル剤などの計数調剤 / 6) 散剤調剤 / 7) 液剤(水剤)調剤 / 8) 調剤した薬剤の鑑査 / 9) 患者への与薬 / 10) 服薬指導	
2. 持参薬の管理	10

2. 薬局調剤の流れ

関連LS (S101), S107, S202, S203, S205, S210, S211, P301, P304 ~ P306, P313, P323, P326, P327, P601 下平秀夫 11

1. 調剤とは	11
1) 調剤の定義 / 2) 調剤をする権利 / 3) 調剤は拒めない / 4) 調剤の場所	
2. 調剤の流れ	12
1) 処方せん受付(応需) / 2) 処方鑑査・処方せん疑義照会, 薬歴の確認 / 3) 薬袋作成 / 4) 薬剤調製(調剤) / 5) 調剤薬鑑査 / 6) 投薬・服薬指導・情報提供 / 7) 調剤報酬の算定・一部負担金の算定 / 8) 調剤録の作成 / 9) 薬歴記載と再評価 / 10) 調剤報酬請求書, 調剤報酬明細書の作成	

第 2 章 受付とインタビュー

1. 病院薬剤師による初回面談 **関連LS** S604 ~ S606, H401 ~ H408, H601 伊藤由紀 19

1. 初回面談	19
2. 初回面談の順序	20
1) 面談の開始 / 2) 情報収集 / 3) しめくくりの言葉	
3. 患者接遇における基本事項	20

4. 初回面談のための情報収集	20
5. 初回面談のテクニック	21
1) 共感と傾聴の重要性 / 2) 非言語的コミュニケーションスキル / 3) 医療面接 / 4) コーチング / 5) SPIKES	

2. 薬局での処方せん受付と患者対応

関連LS S401, S604, S605, P104, P208, P301 ~ P304

出石啓治 27

1. 処方せん受付	27
2. 薬局の整備	27
3. 処方せん受け取り時の確認	28
4. 初回来局者への対応	29
5. 再来局患者への対応	29
6. 来局者への対応	30
7. 医薬品の在庫がない場合の対応	30

3. 一般名処方

関連LS P302, P305

出石啓治 32

1. 一般名処方せん	32
2. 一般名処方せんの受付時の対応	33
3. 一般名処方せんの調剤後の対応	33

4. 後発医薬品

関連LS P302, P305

出石啓治 34

1. 「後発医薬品への変更可」の処方せん	34
2. 「後発医薬品への変更可」処方せんの受付時の対応	35
3. 類似する別剤形の医薬品への変更	35
4. 「後発医薬品への変更可」処方せんの調剤後の対応	35

第3章 処方鑑査と疑義照会

鹿村恵明

関連LS S201 ~ S204, S208, S210, S211, S301, S303, S304 ~ S306, S701, P202 ~ P204, P302, P305 ~ P308, H105

1. 疑義照会とは	37
2. 処方せんの種類	38
3. 処方せん鑑査	40
1) 処方せんの形式的な事項の確認 / 2) 薬学的な事項の確認 / 3) 医薬品情報の収集 / 4) 患者情報とその活用	
4. 疑義照会の手順	48
疑義照会のシミュレーション	

第4章 薬袋作成

関連LS S205, S207, P309, P311

出石啓治

1. 調剤設計	52
2. 薬袋の分け方	52
3. 薬袋に記載する事項	54
4. 薬袋の種類およびサイズ	55
1) 薬袋の種類 / 2) 薬袋のサイズ	

5. 薬袋の形式	55
6. 薬袋作成	56
1) 手書きによる薬袋作成 / 2) 印字システムによる薬袋作成 / 3) 印字スタンプの利用	
7. 記載上の留意点	58
8. 処方例と薬袋への記載例	58
1) 計数調剤での例 / 2) 計量調剤での例 / 3) 一包化調剤での例	

第5章 計数調剤

関連LS S202, S210, S501, S502, S701, P305, P310, P315, P328 ~ P332, H107, H203

出石啓治


1. 計数調剤の特徴	61
2. 計数調剤の流れ	62
3. 準備するもの	62
4. 計数調剤（錠剤・カプセル剤）の手順	62
1) 処方鑑査 / 2) 取り揃え / 3) 調剤薬鑑査	
5. 錠剤・カプセル剤計数調剤の例	67
1) 調剤薬の特定 / 2) 調剤する総量の計算 / 3) シートと端数の取り揃え / 4) 調剤薬鑑査・調剤薬の状態確認 / 5) 調剤薬を薬袋に入れる / 6) 適正使用情報（患者向け説明書）を添付する	
6. 過去に学ぶ調剤過誤の例	70

第6章 計量調剤

1. 内用散剤

関連LS S205, S207, S210, S701, P305, P313, P315, H110, H113


下平秀夫 72

1. 散剤計量調剤の特徴	72
2. 散剤調剤の流れ	73
3. 準備するもの	73
 4. 散剤調剤の手順	74
1) 処方鑑査 / 2) 秤量 / 3) 混和 / 4) 分割分包 / 5) 調剤薬鑑査	
5. 散剤計量調剤の例	82

2. 内用液剤の調剤

関連LS S207, S210, S302, S402, S501, S502, S701, P305, P313, P315, P328, P331, P332, H110


川上美好 88

1. 内用液剤調剤の特徴	88
1) 内用液剤とは / 2) 内用液剤の特徴 / 3) 液剤計量調剤の特徴	
2. 液剤調剤の流れ	89
3. 準備するもの	89
 4. 液剤調剤操作の手順	90
1) 液剤の処方鑑査 / 2) 薬剤秤取量の計算（必要時には、賦形量、全量も計算） / 3) ラベルの作成 / 4) 投薬瓶の選択および秤量用器具の準備 / 5) 秤量（必要時には賦形） / 6) ラベルの貼付 / 7) カップまたはスポイトを添付し、1回服用量を指示 / 8) 調剤薬鑑査	
5. 内用液剤交付時の注意点	100
6. 内用液剤計量調剤の例（mL投与の場合）	100
7. 過去に学ぶ調剤過誤の例	103

3. 一包化・分割・粉碎	関連LS S206, P310～P312, H107, H109, H110, H112	杉浦宗敏 104
1. 錠剤・カプセル剤の一包化調剤	1) 一包化調剤が適さない医薬品 / 2) 一包化調剤の実際	104
2. 錠剤の分割	錠剤分割の実際	108
3. 錠剤の粉碎・カプセル剤の開封調剤	1) 粉碎調剤・開封調剤が適さない医薬品 / 2) 粉碎調剤の実際	109

第7章 外用薬調剤（軟膏剤，外用液剤，坐剤，貼付剤）

関連LS S205, S206, S210, S402, S411, S701, P310, P313, P314, P319, H104, H107, H110, H115 出石啓治

1. 外用薬の種類と棚割	113
2. 外用薬調剤の一般的注意事項	114
1) 同一薬剤名で剤形が異なる場合 / 2) 同一薬剤名で規格（濃度）・包装単位が異なる場合	
3. 軟膏剤調剤	116
 4. 軟膏剤の混合調剤	116
1) 軟膏剤の混合調剤の流れ / 2) 準備するもの / 3) 混合の可否 / 4) 軟膏板での混合 / 5) 機械での混合	
5. 軟膏の特殊調剤	121
1) 準備するもの / 2) 主薬の調製	
6. 外用液剤	122
1) 消毒薬・含嗽剤 / 2) 吸入剤，スプレー剤 / 3) 点眼剤	
7. 坐剤	123
8. 外用薬の無菌調剤	124
1) 準備するもの / 2) クリーンベンチの使用	

第8章 調剤薬鑑査

関連LS S201, S207, S210, S302, S506, S701, P311, P315, P323～P325, P331, P332, H116 鹿村恵明

1. 調剤薬鑑査とは	126
2. 調剤薬鑑査の流れ	126
3. 調剤薬鑑査ミスを防ぐための工夫	127
4. 調剤薬鑑査の手順	129
1) 計数調剤（錠剤・カプセル剤）の鑑査 / 2) 計量調剤（散剤）の鑑査 / 3) 計量調剤（水剤）の鑑査 / 4) 外用剤の鑑査 / 5) 注射剤の鑑査	
5. 調剤後の処方せんの保管・管理	138
6. 調剤録の作成	139
1) 調剤録とは / 2) 調剤録への記載事項	

第9章 注射剤調剤

1. 注射剤調剤の流れ	関連LS H118	杉浦宗敏 142
1. 注射剤調剤の定義	142	

2. 計数調剤と計量調剤	143
3. 処方せんの受付と処方鑑査	143
4. 薬剤の取り揃え（計数調剤）	143
5. 調剤薬の鑑査	145
6. 薬剤の混合調製（計量調剤）	145
7. 計量調剤後の鑑査	146
8. 薬剤の払い出し（病棟への供給）	146

2. 注射剤処方せんの記載事項 杉浦宗敏 147



1. 注射剤処方せんの読み方	147
2. 注射剤処方せんの形式および記載事項	148
3. 薬名	148
4. 分量	149
5. 用法（投与方法，投与経路，投与回数，投与日時，投与速度）	150
1) 投与方法 / 2) 投与経路 / 3) 投与回数 / 4) 投与日時・投与速度	
6. 用量（投与総量）	151

3. 注射剤計数調剤 杉浦宗敏 153

1. 処方せんの受付	153
2. 処方鑑査	154
3. 処方医への疑義照会	156
4. 薬剤の取り揃え	157
5. 輸液などの取り揃え	159
6. 中間鑑査	159
7. 最終鑑査（調剤鑑査）	159


第 10 章 注射剤の計量調剤（無菌調剤） 青山隆夫

1. 衛生的手洗いと手袋の装着 163

 1. 手洗いの種類	163
 2. 衛生的手洗い（抗菌皮膚洗浄剤と流水を用いる）と滅菌手袋の着脱	165
1) 前準備 / 2) 衛生的手洗いの手順 / 3) 手袋の着脱	

2. 注射剤の混合調製 168

a) 注射剤の調製環境（クリーンベンチと安全キャビネット） 168	168
1. クリーンベンチ	168
2. 安全キャビネット	170
b) 高カロリー輸液の混合調製 171	171
1. 高カロリー輸液（中心静脈栄養輸液）とは	171
2. 高カロリー輸液の構成成分と基本的な処方指針	172
1) 糖質 / 2) アミノ酸 / 3) 電解質，ビタミン，微量元素	

3. 混合調製に使用する器具	174
1) シリンジ (注射筒) / 2) 注射針 / 3) 連結管	
4. ブドウ糖とアミノ酸を一剤化した輸液	175
 動画 5. 高カロリー輸液の混合調製の実際	175
1) 無菌室への入室手順 / 2) 無菌室入室後の準備 / 3) 基本操作 / 4) 混合パターン / 5) 作業後の片付け、清掃、消毒 / 6) その他	
6. 鑑査	190
c) 抗がん剤の混合調製 関連 LS S411, H111, H124	191
1. はじめに	191
2. 抗がん剤の混合調製に伴う危険性	192
3. 抗がん剤の混合調製環境	192
4. 混合調製に使用する器具	194
5. 注射用抗がん剤の混合調製の実際	195
1) パイアルからの薬液採取 / 2) アンブルからの薬液採取 / 3) 携帯型ディスプレイ注入ポンプへの充填 / 4) 閉鎖式薬物混合器具を用いた抗がん剤の混合調製 / 5) 抗がん剤の廃棄処理	

第 11 章 病院の院内製剤

関連 LS S408 ~ S411, H501, H502

奥山 清

1. 院内製剤の定義と種類	204
2. 院内製剤に関する責任の所在	205
3. 院内製剤の依頼から調製までの手順	207
4. 院内製剤を行う環境と設備・機器	208
5. 院内製剤の調製と保管	210
1) フェノバルビタール 10%希釈散の予製 / 2) 健胃散 (MM 散) の予製・分包 / 3) L-メントール入りレスタミン軟膏の予製と軟膏容器への充填 / 4) 10%パテントブルー注射液アンブルの製剤 / 5) 院内製剤の保管	
6. 院内製剤の品質試験	216

第 12 章 調剤機器

1. 調剤機器

関連 LS S405, S406, S506, P104, P105, P310 ~ P313, P315,

H107, H109, H110, H112, H113, H118, H121, H125, H204, H205

花島邦彦 219

1. 分包機	219
1) 手分割分包機 (パイルパッカー) / 2) V マス型手分割自動分包機 / 3) 全自動散剤分包機 / 4) 全自動錠剤分包機 / 5) 散剤自動分包機・全自動錠剤分包機一体型	
2. 一包化錠剤鑑査支援装置	223
3. 全自動 PTP シート払出装置	224
4. 全自動液剤分注装置	224
5. 錠剤粉砕器	226
6. 錠剤半錠器	226
7. PTP 除包機	227
8. 錠剤選別器	228
9. 軟膏混和機	228

10. 散剤鑑査システム, 液剤鑑査システム	229
11. 医薬品専用保冷庫	230
12. 処方せん受付機	231
13. できあがり表示機	231
14. 注射剤自動払出システム	232

2. レセプトコンピュータ, その他のシステム

関連 LS S401, P104, P309, P313, P317, P326, H106, H201

花島邦彦 234

1. レセコン (レセプト専用コンピュータ)	234
2. 電子薬歴	234
3. 在庫管理システム	237
4. 薬品発注システム	237
5. 薬袋印字システム	238

3. オーダリングシステム 関連 LS S201

若林 進 240

1. オーダリングシステムとは	240
2. オーダリングシステムの中の医薬品情報	242

索引	244
----	-----

章末問題

1 章	18	7 章	125
2 章	36	8 章	141
3 章	51	9 章	162
4 章	60	10 章	203
5 章	71	11 章	218
6 章	112	12 章	243

各章の最後のページに演習問題を掲載しています。CBT に準じた内容と形式になっており、各章の内容の整理と CBT 対策に役立ちます。

解答と解説は、問題の下にある QR コードを読み込むことによってお手持ちの端末でご覧いただけます。または、弊社ホームページの本書特典ページにも掲載しております。

(本書特典ページへのアクセス方法は右ページの「動画のご案内」をご参照ください)